

# 二町内の自治会新聞

## 二町内自治会二十年の歩み④

子どもを守る会の設立で下校途中の子ども達の安全を確保することが出来た。

青パト隊の設置により四年生以上の部活動生の下校の時間帯の安全を確保することでした。

これまで冬場の下校時間帯は、暗くなるため不審者による事故が何回も発生しておりました。青パトの出現で小中学生の部活動生の下校が安全になりました。

町内では、危険な場所がいくつもありません。

交通安全面では、見通しの悪い交差点が挙げられます。地域住民の皆さんからの意見に耳を傾け、カーブミラーの設置、一旦停止の白線を引く等実施してきました。

傷んだ道路の舗装の申請等々も行ってきました。不審者の出そつな危険

な場所等があり、その一つが八丁馬場でした。

八丁馬場は、加藤清正公の馬場として有名です。熊本城と共に熊本の歴史的文化財です。又健軍の重要な宝でもあります。

ところが当時の八丁馬場は、沿道には悪臭芬々のごみステーションが五・六ヶ所もあり、しかも沿道のツツジは、伸び放題で昼間暗い状態でした。

不審者が身を隠し、行動するのに都合の場所でした。この解決に当たっては、一つの町内でできるものではないと自治会連合会に提案して、八丁馬場を良くする会を設立することにしました。

先ず手始めに「ごみステーション」の撤去から始めました。

半年位掛かりましたが一町内、五町内の皆さんには、「苦勞を掛けまし

事務局  
村上徹郎  
TEL 368-5384  
住所 健軍本町 26-3

た。次がツツジの剪定作業でした。

現在の八丁馬場は、楼門から東バイパスまでを言います。参道の長さ

は、六百メートル以上になります。幅約十メートルにびっしり茂ったツツジがあります。

第一回目は、健軍校区住民に呼びかけて、ツツジの剪定作業を始めることにしました。

約三百人程が集まり、午前八時より剪定作業を始めました。

正午迄には終わる予定が午後一時過ぎまでかかりました。何しろ剪定ばさみでの作業ですから仕方がなかったと思います。

次年度からは、健軍神社にトリマーを六台買ってもらうことにしました。

二回目からは、機械化が進み、正午迄には終わることが出来ました。

ツツジの丈を七センチに揃えたことで参

道が明るくなり、見通しが良くなりました。交通安全上も大きなプラスになりました。

この剪定作業は、不審者対策として始めたものでしたがそれ以上の波及効果がありました。

参道の美化、防犯(不審者対策)、交通安全等が挙げられます。

そして八丁馬場の歴史的文化財を健軍校区住民の手で蘇らせたところに大きな意義があると思います。

この作業に結集した健軍校区住民の心意気とその力に大いに感動しました。

現在健軍校区では、超高齢化社会に備えて、校区を挙げて町づくりに取り組んでいます。

十年後には、四人に一人が認知症になると言われています。老々介護となつた場合一家庭では、対処できなくなる家庭が増えてくることは、当然予想されることだと思

います。助けられたり、助けたりの世界がきつとくるものと思います。

町づくりのテーマ「あ

なたも私もみんな家族」愛と人のあふれる町は、超高齢化社会を生き抜くためのピタタンのテーマだと思

います。理想に近いテーマですが健軍校区いや二町内では、実現可能だと思

います。先ず「挨拶運動」を取り上げました。人と人との付き合いは、挨拶から始まり

ます。先ずは、気楽に挨拶ができるようになることが大切です。

二年ほど続けましたが中学生のアンケート調査では、努力はしているようですが満足できる状態ではないよ

うです。執行部でも町内、校区全体に対して、テーマを理解して頂く努力を払って

いかなければならないと思っております。

超高齢化社会を気持ちよく生きていく為みんなが力を合わせてこの町に住んで良かったと言える町づくりをやるうではあり

ませんか。  
**コロナウイルスの感染**  
中国武漢市から発生したコロナウイルスは、中

国の春節と重なり、世界中にばら撒くことになりました。

日本でも安倍首相の緊急事態宣言により、学校が閉鎖されたり、大相撲、プロ野球、プロサッカー等開幕を延期されたり、無観客試合等が行われ

ました。とにかく三蜜を避けるために映画館、パチンコ店、飲食店などの自粛が要請

されました。又個人に関しては、マスクの着用、手洗いの励

行、不要不急の外出を避ける等が要請されました。この効果は、確かにあり

ましたが一方自粛に応じた業者たちは、収入が減り、経営不振に落ち入り、倒産する会社も出て

きました。そこで政府は、経済対策として、要請を大胆に緩

めました。その結果が現在の第三波となり

ました。大都市を中心にその勢いは、止まらないようです。熊本も確実に増えてお